

国語科 学習指導案

1. 日 時 令和〇年〇月〇日（〇）第〇時限
2. 場 所 HR 教室
3. 学年・組 第3学年〇組
4. 科目名・単元名 文学国語・解釈の多様性について考察しよう
5. 題材名 『山椒魚』井伏鱒二

6. 単元の目標

(1) 【知識及び技能】

文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うことができる。

(2) 【思考力、判断力、表現力等】

文章の構成や展開、表現の仕方をふまえ、解釈の多様性について考察することができる。

(3) 【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

7. 教材観

本教材は、長年、定番教材として親しまれてきた作品である。一方、現在では馴染みのない語句が用いられていたり、物語全体を通して寓意的な側面が見られたりするため、内容の読解はやや難解ともいえる。中でも物語終盤での山椒魚と蛙のやりとりについては、結末が明確には描かれていないこともあり、これまでもさまざまな読みのアプローチがなされてきた。物語結末の“余白”によって多様な読みが可能であるからこそ、生徒が主体的に自分の読みを形成し、他者の意見と比較しながら思考を深めていくことが可能な作品であるといえる。

8. 生徒観

(省略)

9. 指導観

本単元では、卒業を間近に控えた生徒たちが、卒業後も生涯にわたって読書に親しむことができるよう、解釈の多様性を考察することを通して、文学作品を読むおもしろさを伝えたい。そのため登場人物の状況の把握、心情の理解を丁寧に行った上で、作品解釈の多様性について考えるために「考察記事を書く」という学習活動を単元のヤマ場に取り入れる。また、単元を通してグループワークを適宜取り入れることで、互いの読みを比較する場を設定する。他者と意見を比較することで、生徒たちが自分の考えを改めて整理したり、自分とは異なる視点の解釈に気づいたりすることをねらいとしたい。

10. 単元の評価規準

知識・技能【a】	思考・判断・表現【b】	主体的に学習に取り組む態度【c】
文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。	「読むこと」において、物語の結末について自らの考えを形成・表現し、他者の考えを知ること、文学作品における解釈の多様性について考察している。	考察記事を考えることを通じて、本文の内容を読み取り、他者と進んで意見交換する中で、自らの学習を調整しようとしている。

○：総括的評価（記録に残す評価）
●：形成的評価（指導に生かす評価）

11. 単元の指導と評価の計画（全8時間）

時	学習活動	評価の観点			評価規準【観点】 (評価方法等)
		a	b	c	
第1時	・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・これまで学習した文学作品をキーワードに、「考察記事」とはどのようなものかについてインターネットで検索する。			●	・文学作品における「考察記事」とはどのようなものかについて調べ、自分の考えをもっている。〔観察、ワークシート〕
第2時	・本文中に用いられている修辞法について理解する。 ・山椒魚がまわりの生きものにどのような態度を取っているかを読み取る。	●			・本文中に用いられている修辞法を整理し、まとめている。〔ワークシート〕
第3時	・小えびに対する山椒魚の態度から、山椒魚が他者に飢えていることを読み取る。 ・山椒魚が岩屋から出られないと気づいた際の孤独感を読み取る。		●		・山椒魚の他者への飢えと孤独感を読み取っている。〔観察、ワークシート〕
第4時	・「ああ！寒いほど独りぼっちだ！」という発言を軸に、グループワークを通じて山椒魚の心情がどのように変化していったかを整理する。		●		・山椒魚の心情の変化を読み取っている。〔観察、ワークシート〕
第5時	・山椒魚が蛙を閉じ込めた際、山椒魚が蛙に「出てこい！」とどなった理由を読み取る。 ・「お前はばかだ」とお互い言い合った理由をグループで話し合う。			●	・山椒魚や蛙の発言の理由について、自分の考えをもっている。〔観察、ワークシート〕
第6時	・山椒魚が遠回しな表現で蛙に話しかけている理由を考え、グループ内で意見を共有する。		●		・山椒魚と蛙のやりとりから、登場人物それぞれの心情について理解している。〔観察、ワークシート〕
第7時 (本時)	・ワークシートを用いて、「今でも別におまえのことを怒ってはいないんだ」という発言を軸に、物語終盤の登場人物のやりとりを整理する。 ・これまでの学習内容をふまえて、『山椒魚』の結末における考察記事を作成する。			○	・物語の結末について自らの考えを形成・表現すること、また、他者の考えを知ること、文学における解釈の多様性について考察している。〔ワークシート〕
第8時	・前時で書いた考察記事を全体で発表する。 ・それぞれの考察記事の内容について、グループで意見交換し、単元全体を振り返る。			○	自分の考察記事の内容と他者の発表内容を比較して、作品に対する考えを深めている。 (ワークシート・観察)

※「知識・技能」の観点における総括的評価は、定期考査において行う。

12. 本時（第7時）の展開

(1) 本時の目標

『山椒魚』の結末について自らの考えを形成・表現すること、また、他者の考えを知ること、文学における解釈の多様性について考察することができる。

(2) 本時の評価規準

『山椒魚』の結末について自らの考えを形成・表現すること、また、他者の考えを知ること、文学における解釈の多様性について考察している。

(3) 観点別学習状況の評価の判断基準の設定

判断基準	「十分満足できる」状況 (A)	「概ね満足できる」状況 (B)	「努力を要する」状況 (C) と判断される生徒に対する指導のてだて
評価規準			
【思】	本文の内容を根拠にしつつ、他者の意見をふまえて、作品の結末について自分の考えを形成し、自分の考えの変容を表現している。	本文の内容を根拠にしつつ、他者の意見をふまえて、作品の結末について自分の考えを形成し、考察している。	ワークシートに書いている自分の意見や、メモ欄に記入している他者の意見を参考にするように伝える。

(4) 本時の準備物

- ・教科書
- ・ワークシート
- ・クロームブック

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容	生徒の学習活動	教員の働きかけや生徒に投げかける問い	予想される生徒の姿	評価規準 (評価方法等)
導入 5分	・前時の復習	・前時で学習した『山椒魚』の最終場面を振り返る。 ・前時の主発問でもある「山椒魚はどのような気持ちで蛙に話しかけているか」について確認する。	・前時の学習プリントを準備し、教科書の該当ページを開くよう指示する。 ・「山椒魚の言動から読み取れる心情はどのようなものだったか。」	・前時の内容を思い出すことが難しく、教科書や学習プリントを見返す。 ・教員からの質問に答えることで、物語がどのような展開であったかを思い出し始める。	
展開 40分	・物語の最終場面（山椒魚と蛙のやりとり）の読解	・物語最後の蛙の発言について、ワークシートに各小問に対する自分の意見を書く。 【ワークシートの小問】 ①「今でもべつにおまえのことを怒ってはいないんだ」は蛙の本心であるか。 ②蛙は何を思って①のセリフを言ったのだろうか。 ③蛙は山椒魚のことをどう思っていたのだろうか。	・ワークシートを配付し、小問の①～④を通して、様々な視点からの物語の読解を促す。 ・「セリフだけではなく、前後の地の文（例：『極めて遠慮がちに』など）にも着目しよう。」 ・「①から順に答える必要はなく、自分が答えられると思っただ問題からとりかかってもよい。」	・ワークシートの小問を解く過程で、自分の意見を構築していく。 ・「今でも～」というセリフに着目し、蛙と山椒魚のやりとりを振り返り始める。 ・「今でも～」というセリフを蛙の嘘であると解釈し、本当の意味での和解には至っていないと読み取る。(A)	

	<ul style="list-style-type: none"> 蛙の発言に着目した、物語の結末についての考察 物語の結末についての考察記事の作成 	<p>④山椒魚は蛙の①のセリフを聞いて何を感じたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループをつくり、意見を共有する。 自分とは異なる意見をワークシートのメモ欄に適宜記入する。 Google Classroomで提示されている考察記事の例を参考にしながら、ここまでの読解や意見共有をふまえて、各自でドキュメントファイルで考察記事を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ内の役割（司会、記録等）を提示する。 机間指導を行いながら、スムーズに意見を共有できていないグループに声掛けをする。 考察記事の評価基準を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 山椒魚の行動や話し方の変化から、2匹は和解したと読み取る。（B） グループで司会をたて、生徒主体で意見交流が進む。 上記（A）（B）のような、自分とは異なる意見について、そう考えた理由を質問し合う。 ワークシートのメモ欄を見返し、考察記事を書く際の参考にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語の結末について自らの考えを形成し、他者の意見を参考に、考察記事を書いている。 【思】ワークシート
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習の振り返りと次時の流れの確認 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの内容や自身が作成した考察記事を読み返す。 			